

長野県上田市農業委員会の概要（平成24年度）

◎農地面積

農地面積：7,282ha　うち農業振興地域内農用地4,670ha

◎農家数（2010 農林業センサス）

農家数：7,327戸　うち販売農家　2,788戸
うち自給的農家　4,539戸

農業経営体数：2,865経営体

認定農業者数：237経営体（H24 末農政課）

◎農業委員会組織の構成

委員会設置数：1委員会

選挙区：8選挙区

委員数：47人　うち選挙委員40人　選任委員7人（うち女性委員3人）

部会設置状況：3部会（農地部会、農政部会、振興部会）

◎事務局体制

事務所：本庁舎、丸子地域事務所、真田地域事務所、武石地域事務所
豊殿・塩田・川西各地域自治センター

職員数：20名　うち兼務職員14名

◎農業委員会業務内容

1 農地業務

(1) 農地法関連業務

① 3条第1項	102件・10.9ha
② 4条第1項	34件・1.2ha
③ 5条第1項	223件・11.2ha
④ 3条の3第1項届出	144件
⑤ 18条第1項 合意解約受理	152件
⑥ 競売等適格者証明審査	13件

※平成20年4月1日から農地法関連の権限移譲を受け、申請から許可までの期間短縮、迅速化及び申請書類の簡略化を図っている。

(2) 農業経営基盤強化促進法第18条1項審査　12回

① 決定面積(公告)	226.5ha（内円滑化事業187.0ha）
------------	------------------------

(3) 農業振興地域整備に関する法律に基づく意見書の提出

- ① 農業振興地域整備計画の変更審査 2回・111件

(4) その他農地関連法令に係る審査、承認

- ① 特定農地貸付法第3条第1項の規定による承認 1件・32筆
② 農業経営基盤強化促進法第11条の9第4項の農地利用集積円滑化事業規程の審査決定 1件

(5) 下限面積の修正

- ①見直し修正（7月1日公告） 3地区

(6) 農地相談業務と農地流動化の促進

① 農地相談業務

休日農地相談会の実施 9会場 相談者93人（100件）

※H13から「移動農業委員会」として、平日に実施

H18（合併後）から、休日に「農地なんでも相談会」として実施中

② 農地流動化の促進

J A（円滑化団体）との共催による農地貸借相談会の実施

年2回 16会場

(7) 農地利用状況調査（農地パトロール）

① 遊休荒廃農地

復元可能農地 345.9ha

復元困難〔判断未了〕 324.8ha

計 670.7ha

② 農地権利取得後の耕作状況調査（H21～23許可分の抽出）

79件

③ 転用許可後の着工状況確認調査（H21許可分）

310件

※上記②、③は上田市独自事業

2 農政業務

(1) 優良農地の確保と農地の有効利用の促進

① 遊休荒廃農地の所有者等に対する意向調査の実施

② 上田農業再生協議会及び上田市農業支援センター等との情報共有化による取り組み

(2) 上田市農業施策に関する建議の実施

- ① 8項目、26事項を要望

(3) 地産地消の推進と食農教育の充実

- ① 学童農園等への協力・支援
- ② 上田地産地消推進会議への参加

3 振興業務

(1) 担い手の確保・育成の推進

- ① 県農業改良普及センター等の関係機関との連携による新規就農者確保・育成のための情報の収集・啓蒙

(2) 担い手への農地利用集積の推進

- ① 「人・農地プラン」策定及び見直しへの支援
- ② 農地貸借相談会の開催 (農地業務参照)
- ③ 休日農地相談会の開催 (農地業務参照)

(3) 農業者年金加入、家族経営協定の普及推進

- ① 新規就農者対象の農業者年金制度、家族経営協定研修会の開催
- ② 農業者年金加入促進強化月間の取り組み
- ③ 農業委員自らの家族経営協定(生活協定)締結推進

(4) 情報発信の強化

- ① 「農業委員会だより うえだ」第7号発行
- ② 賃借料情報の提供
- ③ 市ホームページの更新
- ④ 全国農業新聞への記事掲載

ワインによる地域活性化

陣場台地研究委員会では、地域や農業活性化委員会と連携し、ブドウ畑のエリア内で食農教育やそば栽培を行っているほか、メルシャンの強い希望である地域への貢献や協調、また地元住民との交流を深めるため、収穫作業体験やワインセミナーを開催しており、人気のイベントとして定着し、ワインへの関心や地域の活性化が進んでいる。



そば栽培



小学生のジャガイモ栽培



収穫作業体験



ワインセミナー

メルシャンの取り組み

世界最高品質のワインを目指して

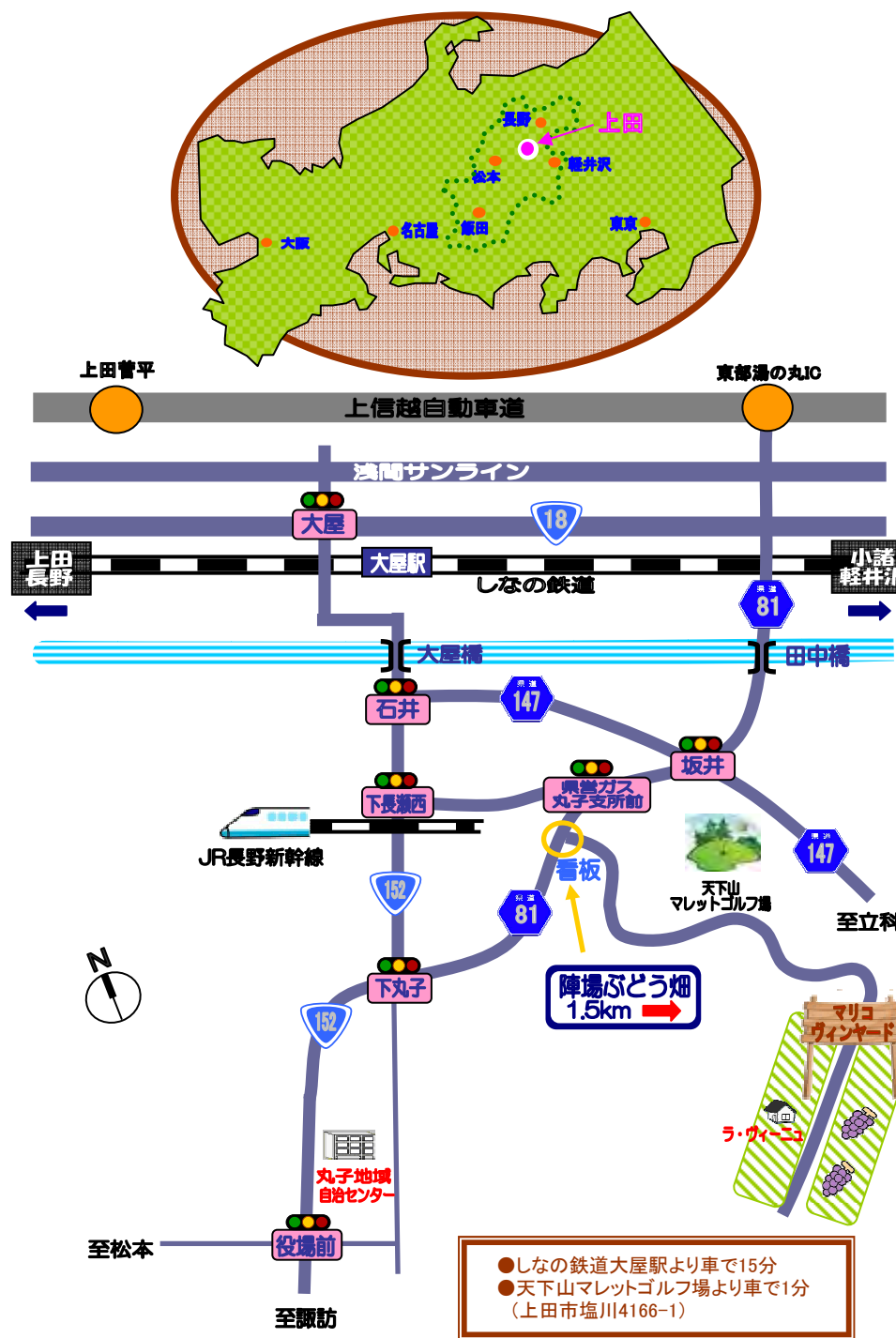
メルシャンは、世界が認める最高級ワインを目指し、栽培方法や品種選定で試行錯誤をかさねており、『マリコ・ヴィンヤード』シリーズは国内・外のワインコンクールにおいて毎年高い評価を得ている。

国産ワインコンクール実績

- ★2010年度 欧州系品種 白
【銀賞】ソーヴィニヨンブラン 2009
- ★2011年度 欧州系品種 白
【金賞】ソーヴィニヨンブラン 2010
- ★2012年度 欧州系品種 赤
【金賞】オムニス 2009
【銀賞】メルロー 2009
- ★2012年度 欧州系品種 白
【金賞】ソーヴィニヨンブラン 2011
【銅賞】シャルドネ 2011



オムニス 2009



●しなの鉄道大屋駅より車で15分
●天下山マレットゴルフ場より車で1分
(上田市塩川4166-1)

◆ 農業生産法人の概要 ◆

【社名】 有限会社ラ・ヴィーニュ (フランス語で「ぶどうの木」の意味)


【事業内容】 丸子のマリコヴィンヤードでのぶどう生産
メルシャン(株)の契約畑である桔梗ヶ原、北信両地区での生産管理

【設立】 2003年2月

【資本金】 330万円

【所在地】 長野県上田市塩川4376番地

【社長】 上原和太郎



H25.4月



MARIKO Vineyard

陣場地区ワイン用ぶどう園地

マリコ(椀子)ヴィンヤード
名前の由来

6世紀後半、欽明天皇の皇子『椀子(まりこ)皇子』の領地であった丸子地域の歴史に基づいて命名。
【椀子】が転じて【丸子(まるこ)】になったと言われている。

陣場台地研究委員会